



低地の林縁で見ることが多い。



不揃いな鋸歯がある。



大きな個体の葉は全縁。

区別のポイント

葉には不規則の大きな鋸歯があり、臭気がある。老樹では葉は全縁になる。

形態 落葉小高木。

分布 本州（近畿以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 浜にある臭い木。

葉 **〈全体〉** 広卵形で長さ 4 ～ 12 cm。
〈付き方〉 対生。
〈葉柄〉 5 ～ 15 mm。
〈基部〉 葉柄に流れる。
〈葉先〉 急に細くなりやや鈍端。
〈縁〉 若木では上半分に数対の大きな鋸歯がある。

備考

出典 1